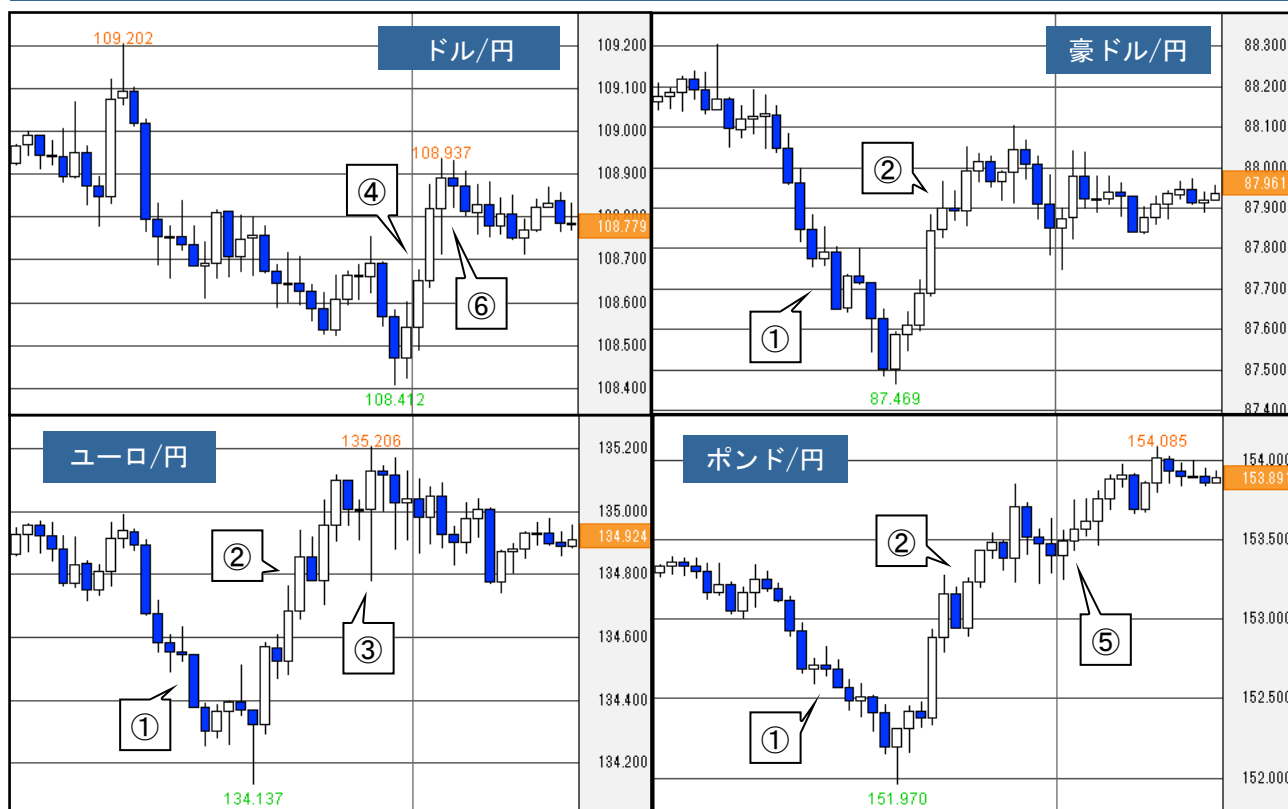


1月31日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米大統領演説と米FOMC

30日(火)の為替相場



期間：30日(火)午前7時10分～31日(水)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 米長期金利の上昇(ドル買い要因)を嫌気する形でアジア株が全面安(円買い要因)の展開となる中、ユーロや豪ドルやポンドに下落圧力がかった。
- ② ユーロ圏10-12月期国内総生産(GDP)・速報値は前年比+2.7%と、市場予想どおりの伸びを示した。なお、7-9月期GDPは改定値の前年比+2.6%から+2.8%に上方修正された。欧州株の下落が一服した事もあって、ユーロ/円を中心にクロス円が買い戻された。
- ③ 独1月消費者物価指数・速報値は前年比+1.6%に減速(12月+1.7%)し、市場予想(+1.7%)も下回った。
- ④ 米1月消費者信頼感指数は125.4と市場予想(123.0)を上回り、前回(123.1)から上昇した。なお、発表元であるコンファレンスボードの担当者は「消費者は引き続き、2017年の終わりに見られた堅調な景気拡大ペースが18年も継続することによりかなり自信を持っている」とのコメントを発表した。
- ⑤ 英中銀(BOE)のカーニー総裁は議会証言で「英EU離脱交渉が明確になれば設備投資を支援」「ポンド安はインフレを通してなお影響している」「実質所得の伸びは年後半に回復する」「トランプ大統領のドルに関する発言を評価」などと発言した。
- ⑥ ムニューシン米財務長官が「長期的な米国の利益にかなう強いドルを支持」「介入のない自由な為替市場を支持」と述べた事が伝わるとドルがやや買われた。

30日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
23291.97 ▼337.37	6022.798 ▼52.611	3488.009 ▼34.992	7587.98 ▼83.55	13197.71 ▼126.77
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26076.89 ▼362.59	0.0970% △0.0080	2.861% △0.009	1.460% △0.007	0.683% ▼0.011
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.1243% △0.0080	2.7199% △0.0263	64.50 ▼1.06	1340.00 ▼5.10	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
109.25	000	
109.20	000	
109.15	000	
109.10	000	
109.05	000	
109.00	000	
108.95	000	
108.90	000	
108.85	000	
108.80	000	
108.75	000	
108.70	000	
108.65	000	
108.60	000	
108.55	000	
108.50	000	
108.45	000	
108.40	000	
108.35	000	
108.30	000	
108.25	000	

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.000-109.500	134.000-135.700	87.200-88.800	152.900-154.800

【ドル/円】

本日は米大統領一般教書演説(11:00)と米連邦公開市場委員会(FOMC、28:00)が2大イベントだ。一般教書演説では貿易問題への言及が焦点となろう。トランプ大統領が貿易赤字の解消に向けて保護主義的な発言をすればドル安圧力がかかる可能性がある。ただ、昨年の演説は過激な発言を控えて米国民に団結を呼びかけた点が市場に評価された(株高ドル高の反応)。市場が設定する「及第点」は、さほど高くないと見る事も可能だろう。一方、FOMCでは政策変更なし(追加利上げ見送り)が確実視されており、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長の会見も予定されていない。見どころは声明の文言変更のみとなるが、足元の米経済はインフレを除けば概ね好調であり、FOMCが追加利上げに対するスタンスを変更する要素は見当たらない。イエレンFRB議長にとって最後となるFOMCは市場に強いインパクトを残さない公算が大きい。そのほか、にわか不安定さを増した世界の主要株式市場の動きにも注目しておきたい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/31(水)	09:30	◎	(豪) 10-12月期消費者物価指数(前年比)	+1.8%	+2.0%
	10:00	○	(中国) 1月製造業PMI	51.6	51.6
	11:00	◎	(米) トランプ大統領、一般教書演説	—	—
	17:55		(ユーロ圏) レーン・アイルランド中銀総裁、講演	—	—
	18:50		(ユーロ圏) クーレECB理事、講演	—	—
	19:00		(ユーロ圏) 12月失業率	8.7%	8.7%
	19:00	◎	(ユーロ圏) 1月消費者物価指数(HICP)・速報(前年比)	+1.4%	+1.2%
	22:15	○	(米) 1月ADP全国雇用者数	+25.0万人	+18.5万人
	22:30		(米) 10-12月期雇用コスト指数(前期比)	+0.7%	+0.6%
	23:45	○	(米) 1月シカゴ購買部協会景気指数	67.8	64.0
	24:00		(米) 12月中古住宅販売保留件数指数(前月比)	+0.2%	+0.5%
	24:30		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	28:00	◎	(米) FOMC政策金利発表	1.25-1.50%	1.25-1.50%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。